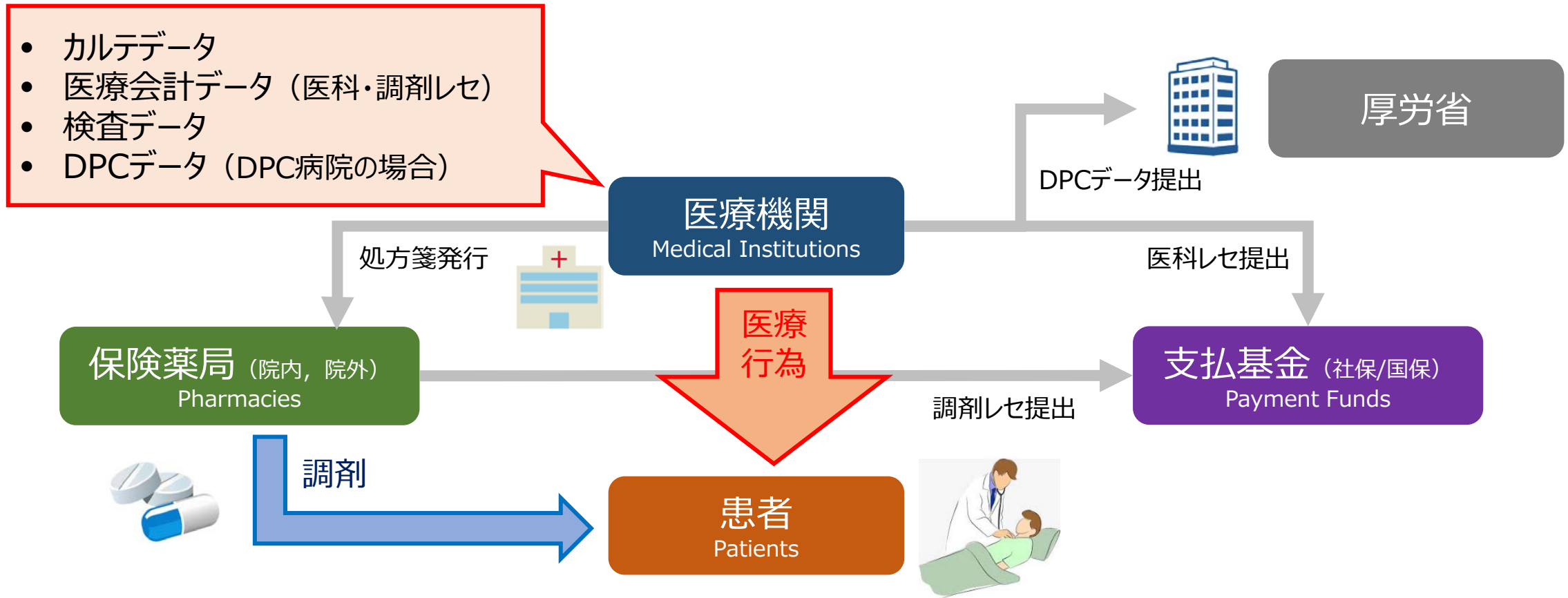


国立病院機構の 診療情報データベースについて

国立病院機構 本部 情報システム統括部長
堀口 裕正

国立病院機構のデータソースの概要



- 特徴
病院のカルテデータ、医事会計、DPCデータを統合して収集 (概ねMID-NETと同じもの)
- (cons) データがNHOの病院に限られる

N C D A と M I A（各病院からデータ収集）の概要

国立病院機構の病院ネットワークにより収集したD P Cデータ等の診療情報データベースの分析を更に充実するとともに、電子カルテ情報の収集・分析について検討を進め、臨床研究等に活用するための支援を担当。

N C D A

診療情報集積基盤



電子カルテベンダ毎に異なるデータを標準化して集積する

76病院



※ N C D A : N H O Clinical Data Archives

M I A

診療情報データベース

140病院

レセプトデータやD P Cデータを収集する



※ M I A : Medical Information Analysis Databank

データ利活用の推進実現へ

臨床評価指標



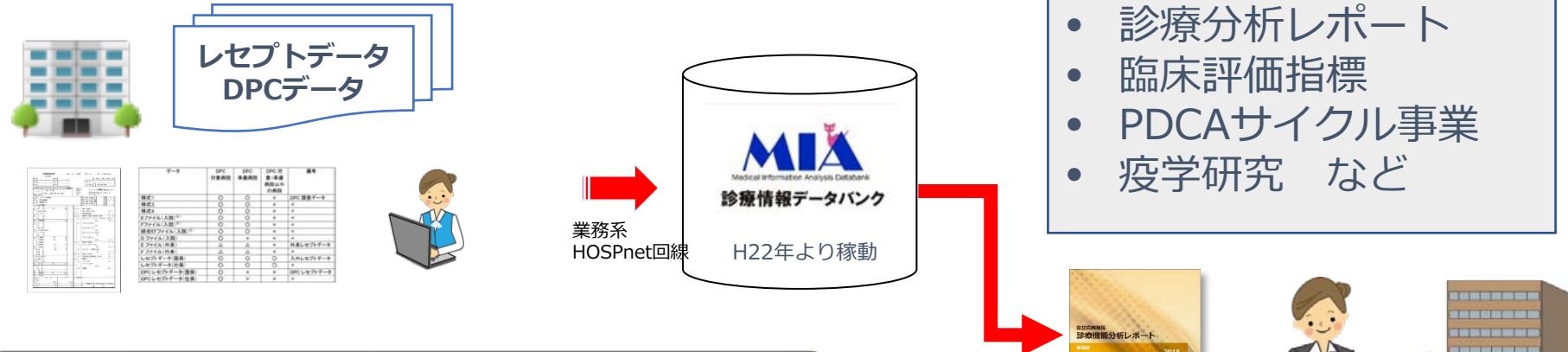
診療機能分析レポート



N C D AとM I A（各病院からデータ収集）の概要

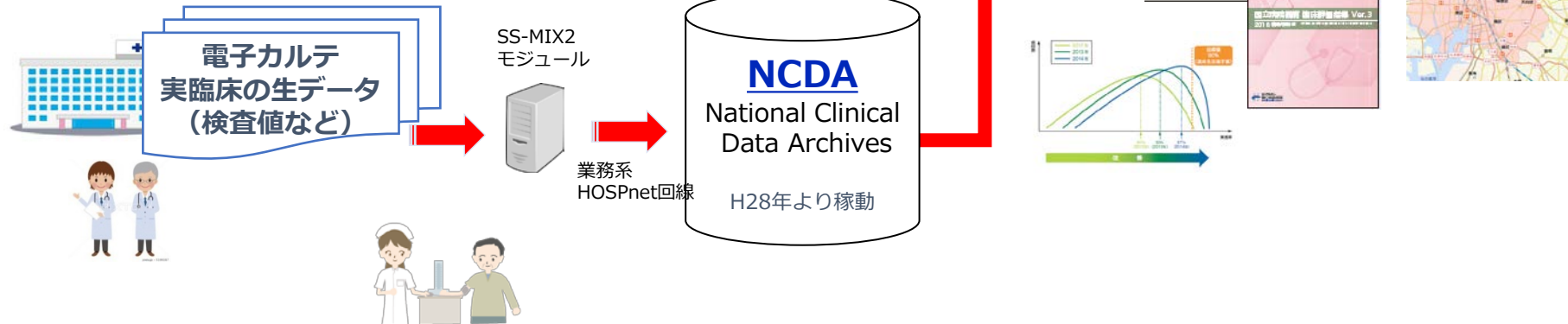
診療情報データベース（MIA）

国立病院機構140病院のDPCレセを含むレセプト情報を、
機構本部に収集、格納したデータベース



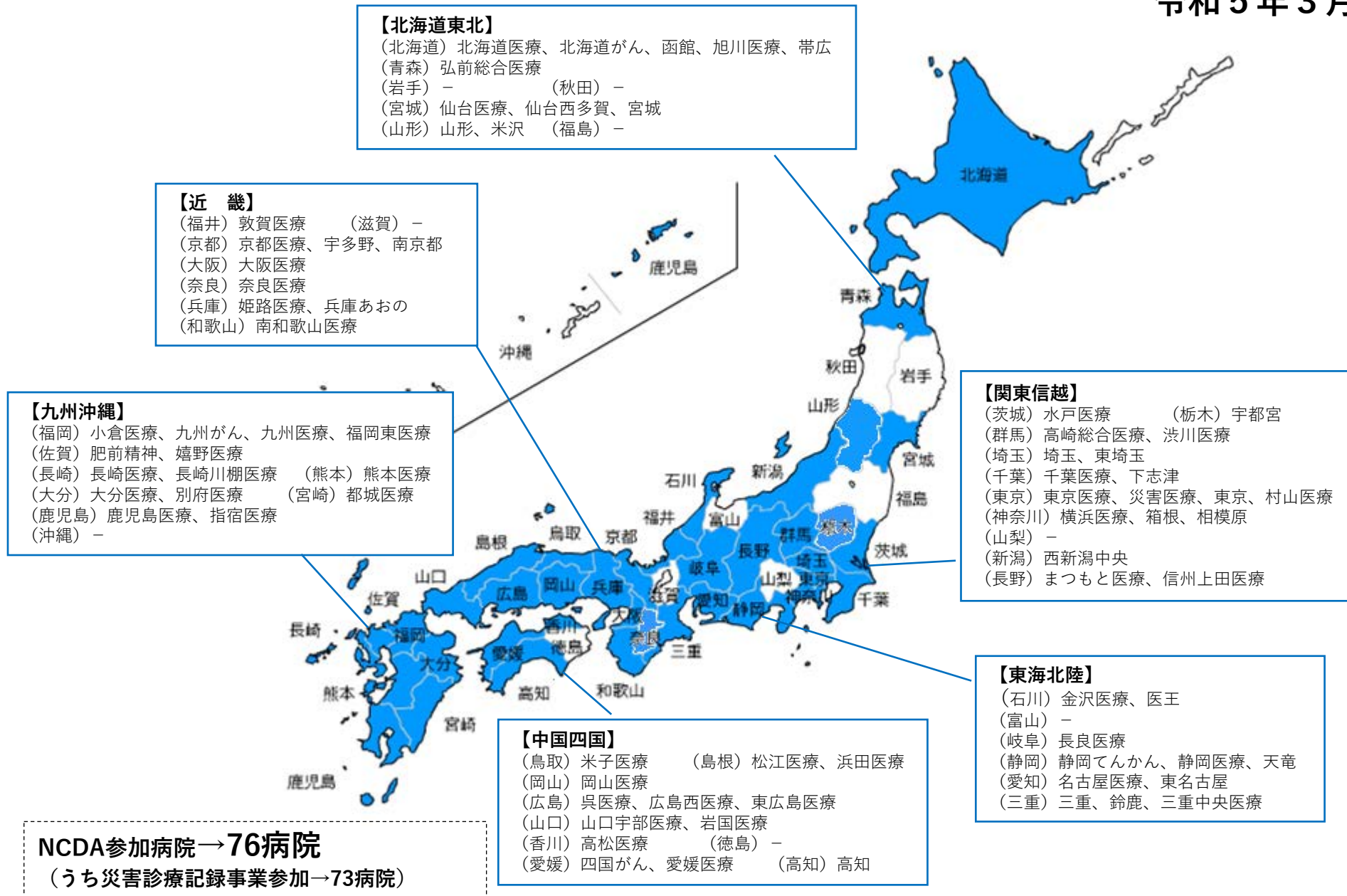
診療情報集積基盤（NCDA）

国立病院機構76病院の電子カルテ情報を、データを
標準化した上で、機構本部に収集、格納したデータ
ベース



NCD参加病院の状況

令和5年3月



今回の連携事業におけるNHOとしての整理

- 運用開始時に提供するデータはDPCデータ・レセプトデータ。SS-MIX2由来のカルテデータについては、今後課題の整理を行っていく予定。
- NCDAとMID-NETの連携としているが、本連携においてはMIAのデータを一旦NCDAのシステム内に取り込んだ上でDPCデータ・レセプトデータを提供するという整理。
- 提供するフォーマットはMID-NETのフォーマットに合わせることで、技術的にはMID-NET利用の際のノウハウを使って分析処理可能。
- 提供可能病院数はスタート時点では67病院、NCDA参加病院の増加とMID-NET連携可能病院の増加には一定のタイムラグが発生します。
- NHOとPMDAとのシステム連携合意を行なった時期の都合上、最近MID-NET側で行なった仕様変更（オンサイトセンター以外での利活用、日付変更の非必須化等）には現時点で対応しておらず、旧仕様での連携で開始される。新仕様対応は別途調整中
- NHOは今回のPMDAとの連携におけるNCDAデータ提供は個人情報保護法の「法令に基づく場合、同意不要」と整理している。そのため、製薬企業等の利用についてはGPSP省令・GVP省令に基づく利用以外は許可しない整理です。なお、公衆衛生例外に基づく利用については直接NHOで受け付けることとしています。

情報源から収集した医療データの品質管理



取り込み

- 頻度 毎日前日分データを取り込み
- 授受方法 閉域ネットワークを利用して収集
- 手順, 確認方法 病院が作成するSS-MIXデータを本部から取りに行く

データクリーニング

- 対象となるデータ項目 すべてのデータ
- データクリーニングの具体的な内容 取り込み時にエラーチェックプログラムでチェック、問題があれば病院に確認・補正
- データクリーニングの基準 データの型チェック・フォーマットがおかしい・単位がルール通りではないなど

コード化

- 対象となるデータ項目 日本の標準コードほぼすべて
- コード化の具体的な内容, 手順 病院のマスターに標準コードを登録し、出力する

継続した品質管理

- 対象となるデータ項目, 品質管理の具体的な内容 上記の作業を毎営業日本部にて実施



情報源から収集した医療データの品質管理（通常時）



提供用データの作成

- 依頼内容を確認し、本部所属SEがデータ作成作業を行う。

データクリーニング

- 対象となるデータ項目
- データクリーニングの具体的な内容
- データクリーニングの基準

基本は取り込み時に実施しているが、利用するデータについて再度確認データが想定されている範囲内に収まっているか、コード間違い等ないか利用するデータの想定との比較

コード化

- 対象となるデータ項目
- コード化の具体的な内容、手順

基本病院でコード化しているのでこのタイミングでは実施しない
ただし、匿名化目的でのコード変換等は実施



情報源から収集した医療データの品質管理（MID-NET連携時）



提供用データの作成

- 依頼内容を確認し、本部所属SEが専用のモジュールでデータ作成作業を行う。

データクリーニング

コード化

- MID-NETのデータと同じ分析処理ができるように提供フォーマットに揃える形で作業を実施
- PMDAと調整の上、MID-NETのデータと混在して利用可能となるように品質管理作業を実施



提供データのデータ構造

- 通常時

- SS-MIX2 1. 2のルールに完全準拠
- 仕様書 <http://www.jami.jp/jamistd/ssmix2.php>
- 複数解釈可能な部分のNCDA上の解釈
 - https://github.com/nhoHQ/SSMIX2_support_documents
 - 各種マスター類もここに置いてあります。

利活用希望時にはSS-MIXのファイルの定義から、「この部分がほしい」と言ってもらえれば対応できます。

- データはいつでも再現・再生が可能な状況で提供可能です。

- MID-NET経由での依頼時

- MID-NETのデータと同じ分析処理ができるように提供フォーマットに揃える形で提供